

I 男女の人権尊重と男女共同参画意識を育てるまちづくり（Aグループ）

現状・課題	理想像	対象事業	意見
<p>事業1, 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○セミナー・シンポジウムに若い人の参加者が少ない ○講師が良い人でも集客が伸びない。 ○市職員同士で共有意識を高めているか ○男女共同参画に関する言葉が固いのではないのか 	<ul style="list-style-type: none"> ○若い世代の意識が高まり、セミナーやシンポジウムなどへの参加者が増える。 ○気楽に聞いて学べた結果「男女共同参画」の意識を高めることができる 	<p>事業1 男女共同参画週間等における特集／男女共同参画関係法令の普及啓発・関連事業のPR</p> <p>事業2 男女共同参画フォーラムの開催／セミナー・シンポジウムの開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報の方法に工夫が必要
<p>事業11</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マナー検定は、田代中だけで実施されているが、あいさつなどのマナーが生徒に定着している ○総合学習で地域の人々とともに学ぶ取り組みがあり、地域のことを学び地域の人達と交流する良い機会になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市全体の中学校で行われる ○地域との関わりの中で、地域のことを知ること、子ども達の地域の一員としての意識が高まる ○思いやりや感謝の心が育つ 	<p>事業11 進路指導の充実</p>	
<p>事業18</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者のDVの相談も受けたことがあるが、飲酒による言葉の暴力や給料を渡さない、認知症など病気によるものなど多様化している ○病気によるDVの相談を地域包括支援センターにしたところ、センターはとてもよくしてくれるが、あまり知られていない 	<ul style="list-style-type: none"> ○早期に発見、相談、連携して解決につなげる（DVをすぐ相談できる） ○広報宣伝をして多くの人々が利用できる 	<p>事業18 市民相談における早期発見</p>	
<p>事業20</p> <ul style="list-style-type: none"> ○母子保健推進員による訪問は、なかなか会えないことが多い ○子どもがいる家庭でも、市報がアパートの住人に届かない例もある 			
<p>事業22</p> <ul style="list-style-type: none"> ○担当者間での情報共有が重要 	<ul style="list-style-type: none"> ○連携をはかる 	<p>事業22 相談窓口の周知／庁内相談担当者間の連携強化／情報収集と提供</p>	
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食事や家事に対して感謝の言葉を言わないときがある 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭内では家族が助け合い、思いやりと感謝の言葉が必要 		